

深川消防団ニュース



# さきもり

発行 深川消防団  
所在地 〒135-0042  
東京都江東区木場  
3丁目18番地10号  
深川消防団本部  
TEL : 03-3642-0119  
FAX : 03-3641-4422

## 第八分団本部増築と小型ポンプ積載車の配備

第八分団（団員27名）東陽1丁目～7丁目地域担当



第八分団本部と団員

祝 第八分団本部施設引渡式  
平成22年12月1日

昨年10月の団本部の増築、本年4月の小型ポンプ積載車の配備と我が分団にとってうれしいことが続き、また新たな責任も感じております。現在、積極的に地域活動に参加し、すべての消防団員の顔を地元の人たちに認識してもらおうとしておりますが、分団員個々も自覚を持って日々の訓練や行動を行い防災リーダーとしてのみならず地域の中で重要なポジションを占めるべきだと思っています。一昨年までの消防操法十連覇についても、それをそれで終わらせず、深川消防団全体の消防操法の底上げになれたかなとも思います。

(第八分団 庄井 編集員)

平成二十二年十月  
第八分団本部増築  
平成二十三年四月  
小型ポンプ積載車配備

第八分団は江東区役所のある東陽町地区を担当しております。団員は現在27名です。団員不足に悩んでいたところ、昨年一挙に8名の新人の入団を得、活気あふれる団活動を推進しています。操法においてもどんどん新入団員を起用しているところです。



深川消防団ニュース「さきもり」インターネットでの公開について

深川消防団ニュース「さきもり」はインターネットでも見られるようになっていました。発行から数日で最新号もアップしてあります。以前のバックナンバーも保存してありますので、配りきれない方や地方におられる方、また退団して深川消防団の様子を知りたい方などにも教えてあげてください。入団を検討している方にも参考になると思います。



現在は「さきもり」の内容どおりのことを掲載していますが、ゆくゆくは最新の記事や連絡ごと、皆さんなども掲載し、深川消防団員のコミュニティになれるようなホームページを目指しています。皆さんのホームページやブログともリンクいたしますので教えてください。

第八分団では独自のホームページを作って普段の出来事や写真を掲載し、連

絡なども載せています。皆さんの分団でも作成したいというところがありましたらお手伝いいたします。

・さきもりホームページ

<http://fukagawasyouboudan.jimdo.com/>

・第八分団ホームページ

<http://sho2106.jimdo.com/>

東陽小防災教育課外授業

【期日】4月28日

【場所】東陽小学校校庭

4月28日、東陽小学校において4年生を対象に課外授業へ深川消防署署員の方と一緒に参加しました。ちょうど配備になったばかりの小型ポンプ積載車を持っていったて操法の披露や座学をしました。子供たちからは消防署と消防団の違いや、どうやったら消防団に入るか、水の勢いはどのくらいかなど



盛んに質問が出ていました。中には「消防団員のお給料はどのくらいですか」など答えにくい質問も飛び出しました。その後は実際に団員の持っているホースの筒先に触ってみるなどの体験をしてみんな楽しそうでした。今回の大震災を受けて子供たちへの防災教育はますます重要になっており、防災教育によって災害時に生き延びられたというのが現実の事となっています。

(第八分団庄井編集員)

形屋副団長が明治小4年生に防災教育を行いました！

|| 地域防災教育の一環として ||

【期日】4月22日

【場所】明治小学校

明治小学校4年生135人に深川消防団のお話をして来ました。皆で大き



な声でご挨拶を致しました。3月11日の東日本大震災以来、生徒の皆さんが防災に対する考え方が非常に強くなっていると思います。消防団員は社会の仕事しながら、「私達の町は私達で守ろう」という意志で活躍をしています。深川消防団の紹介、団員の人数、分団の数と紹介、車や道具等の説明や、どんな活動や、どんな訓練をしているか説明をしました。説明が終わった後に生徒達の質問を受けました。災害・訓練で苦しかった事は、楽しかった事は何ですか、とかいろんな質問がありました。消防団の今の目標と、将来の目標は何ですか、大変難しい質問が有りました。将来の目標は君達4年生が18歳以上になった時、深川消防団員になってくれる事ですと答えました。説明が終わった後、お茶を頂いた時、ほっといたしました。

(団本部 形屋編集責任者)

# 消防操法大会に向って!!

—— 結果はどうなるのでしょうか? ——

前回大会直前ケガにより、選手から降りた団員の今大会へかける思い!

## 第六分団 笠原団員 (四番員)

今年も六分団は、大会に向けて日々訓練に精を出していますが、その中で昨年、練習中に腰を痛め大会に出場できず病院のベットの上で一人、涙を流した、笠原団員が今回はベストな体調で頑張っています、「魂の水を送れ」、どの分団でも毎年、色々な物語が生まれている事と思いますが、この操法大会は団員が一致団結できる魅力ある大きな行事だと思います、大会を終えた時、団員の絆がまた強くなっている事に、それぞれ気付く事でしょう。

(第六分団 斉藤編集員)



## 第二分団 佐竹部長 (指揮者)

去年は、指揮者が残念ながら大会直前に膝の関節炎で涙のリタイアです。今年は去年よりも注意しながら、訓練に励んでいます。

今年はメダルを取りに行きます。目ざすは優勝金メダル、3位銅メダルでも可かな? 連合町会からのお祝いも有りますから!

(第二分団 平林編集員)



## 第一分団 小勝団員 (二番員)

私は、膝痛を我慢して望んだ、初めての大会でした。今回は二度目でもあり、心と身体のケアに務めて訓練に励んでいます、チームワークを大事に去年より「2個」上を目指します!



## 第五分団 テレビ東京が取材に



深川消防団を代表して取材を受けて野澤分団長以下、選手・団員一同で上位目指して燃えています

## 第三分団 阿部編集員復活 (一番員)

去年の優勝分団です。2名の選手交代また、新しいポンプで頑張ります!

## 第四分団 正本編集員 (二番員)

初めての2番員で体力的にも大変でしたが、指導された事を発揮出来るように頑張りたいと思います。

## 第七分団 椎名分団長

去年以上の順位を目指し、訓練しています。

## 第八分団 山下分団長

新人含め経験者ローテーションで、去年逃した優勝旗取り返し目指します。

## 第九分団 津川分団長

大震災がありましたでしたが、訓練の一環とし、また前年準優勝なので、気合い入っています。

## 第十分団 古田分団長

前年メンバーに2番員を新たに加えて「フレッシュ」になり、規律重視で、三位以内を目指す。

## 大震災、都内では交通がSTOP、徒歩での帰宅者が道路に溢れる大渋滞!(深夜になる帰宅者も)

### ●帰宅難民を経験して

3月11日(金)14時48分くらいだったでしょうか?自分は東京都世田谷区、二子玉川駅前です仕事をしてたのですが、激しい揺れがあった瞬間、寝不足のため、目まいが起きたのかと思いつつ、その場にしゃがみ込んでしまった。近隣にある建物のガラス張りのエレベーターが木の葉のように揺れているのを見て、はじめて「地震」であることに気付いた。いっしょに仕事していたスタッフから「とりあえず広場に避難しましょう」と声をかけられ、地べたを這うように広い場所へと移動した。揺れは数分間続いたものの、それが未曾有の震災になっているとは思わず、中断した仕事を続けようとしていた。しかし、仕事場に戻ろうとしても、エレベーターが動いておらず、仕方なしに屋外でできることから片づけ、車に戻りテレビを見て驚愕した。映像は仙台空港のもので、津波が滑走路を押し寄せるものだった。もちろん、関係各所に連絡したくても携帯電話はつながらない。仕事は取りやめとなり、そのまま都心に車で戻ったのだが、港区赤坂までは通常、約30分で行ける道のりが、約4時間30分かかり、20時過ぎに到着した。かろうじて、銀座線が動いているので溜池山王から銀座まで移動。4丁目交差点には帰宅を急ぐ人で22時を過ぎてても大混雑していた。22時10分過ぎ、自分も晴海通りを豊洲方面に歩き始め、勝どき橋を渡ろうと、橋の下を覗くと、隅田川沿いの遊歩道が水でぬれていることが見て取れた。津波の影響なのだろうか?その後、15分ほど歩き、晴海トリトンスクエア前で、深川車庫行きのバスが来たので乗車。まさに寿司詰め状態で、身動きできないほどの混雑ぶりだった。ところが、次の停留所に止まると、赤ちゃんを抱いたご婦人が乗車しようとしたのだが、満員で乗車できない様子。なんとか、スペースをあけるために、自分は下車し、再び、徒歩にて豊洲方面に向かう。運転手さんによると、東京駅から晴海トリトンまで約3時間かかったとのこと。震災当日の交通渋滞は想像を絶するものだったよう



だ。23時、東雲の自宅に帰宅する。正直、我が家では震災対策で棚などは倒壊しないよう、天井と棚の上部を棒で支えていたので、「大丈夫」とタカをくくっていたのだが、玄関をあけて驚愕した。本棚二本が倒壊し、本やCDソフトが散乱していた。よく見ると金属製の本棚の足の部分が潰れ、くにゃりと曲がっている。つまり、天井と棚の天板との支えが強すぎて、遊びがなかったことで、揺れに耐えきれず、本棚の足が潰れてしまい倒壊したようだった。それにしても、万が一、在宅していたら、おそらく本棚の下敷きになっていたと思うとぞっとした思いだった。

今回の震災を機に、金属製の家具類の場合、頑丈に固定するよりも、少し遊びを残して固定してあげた方が、結果的に金属への負担を軽くし、倒壊を免れることを教わった。消防団員として、震災時、速やかに出動できるようにするためにも、まずは自らの室内において、震災被害を最小限に食い止められるよう留意したい。

本!!

# 消防団員の多くが犠牲に!!

写真の乾燥

号ではその一部を掲載しました。



炊き出し



支援物資

## ●「思い出」のアルバムを家族の元へ

## 岩手県大槌町へ……

清澄町にある仏教のNGO、アース（仏教国際協力ネットワーク）が、支援をしているNPOが募集したボランティアで、四月二十九日より四泊五日で、岩手県の大槌町に行って来ました。このNPO団体では、三月下旬より、どこで活動をするか被災地を回って検討した結果、役場が流され町長さんが犠牲になられ、復旧が遅れている大槌町に決め、炊き出しや子供の遊び相手、救援物資の仕分け、それに自衛隊ががれきの中から見つけてきたアルバムを持ち主に返すなどの活動をしているそうです。

このアルバムを持ち主に返す企画のボランティアをさせて頂きました。土や砂だらけのアルバムから写真を一枚一枚取り出し、洗面器で洗い洗濯ばさみで干し、新しいアルバムに入れて、避難所で展示をして、持ち主や知人に返すという行程でした。展示場では、写真を探しに来た人の約3割の方が自分の物や知人の物を見つけ「思い出」や「生きた証」を持ち帰ったようでした。写真の中には、インクが落ちている写真も多数あり、顔の部分を傷つけないように洗うのに苦労しましたが、地道に作業をした甲斐があったと思いました。

この震災で、消防署員や団員も犠牲になられたとの事、私達もこの教訓を生かし、想定外も想定して訓練や準備をしなければいけないと思いました。

合 掌

(ボランティア参加者・第四分団 正本 編集員)





消防団協力事業所

株式会社 **ムトウユニパック**



代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代1-7-12 TEL. 03-3642-1141 (代表)  
http://www.mutoh-u.co.jp/

支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ツ谷・さいたま  
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として

活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に

取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



オークラホテルズ&リゾート

ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3  
03-5683-5683 (代表)  
www.hotel-east21.co.jp

「大震災はいつ起こるか  
分からない」

弊社の社員も消防団員として  
活動しています。

**丸八倉庫株式会社**

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に  
積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp

PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

**TEISOH** 株式会社 テイソウ  
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防署の指導者紹介

吉田 副主 任	中野 副主 任	坂部 副主 任	小久保 副主 任	菅井 副主 任	三 角 副主 任	濱田 副主 任	牛山 副主 任	町田 次 席	平野 係 長	防災安全係	西 課 長	警防課
---------	---------	---------	----------	---------	----------	---------	---------	--------	--------	-------	-------	-----

消防団幹部人事異動

平成二十三年四月一日付

分団長に任命並びに承認

第十分団長 吉田 保広

(第十分団副分団長)

表彰者の紹介 始め式以降の

消防庁長官表彰 (三月三日)  
永年勤続功労賞

団本部副団長 大森 稔

★救急車を呼ぶか、病院か迷ったら

救急相談センターへ

# 7 1 1 9

(携帯、PHS、プッシュ回線)

★心肺停止傷病者への  
応急手当実施率向上を

救命講習の受講促進

★震災被害の軽減の為

家具類の転倒・落下防止  
の促進

★今後とも設置率100%  
を目指し

住宅用火災警報器の設置

深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎

♣入団資格

心身ともに健康で、十八歳以上の方  
消防団の区域内に居住、又は勤務の方

♣問い合わせ

深川消防団本部(深川消防署内)

電話 〇三(三六四)〇二九